

giftee\*

本ガイドライン（レギュレーション）は giftee ブランドの保護と発展を目的として制定されました。

## LOGO

ロゴについて

giftee ロゴは、文字「ロゴタイプ」とその末尾の斜め上に配置された「シンボルマーク」の 2 種類で構成されています。



## LOGO

ロゴについて (2)

### シンボル・マーク単体での利用

シンボル・マークには夜空に輝く星や、箱に結ばれたリボンの意味が込められています。そのためシンボル・マークを利用する際には、原則としてロゴ（メイン）と同様に右斜め上に配置します。

### 禁則事項

例3のように giftee ロゴからシンボル・マークを外してロゴタイプ単体で使用しないでください。一般的なロゴは配置スペースが確保できない場合にロゴタイプ単体で用いることがありますが、本ロゴはシンボル・マークを小さく用いていることから、マークの有無によって専有面積の変化が少ないためです。



giftee\*

1. ロゴ（メイン）を用いる



ロゴと同じルールでシンボル・マークを用いる



giftee

3. アスタリスクを外して使用する



4. 異なるルールでシンボル・マークを用いる

## COLOUR

色について (2)

ロゴは原則としてカラー版を使用します。

モノクロ印刷など使用環境の制約によりロゴを 1 色で用いる場合には黒 / 白 1 色版を使用してください



カラー (通常)



黒 1 色



白 1 色

## ISOLATION

### アイソレーション・ゾーン

アイソレーション・ゾーンは、自社のロゴのアイデンティティを守るための重要な要素です。ロゴの周りに余白を設けることで、他のデザイン要素から独立性を保ちます。このエリアには他の要素を侵入させてはいけません。本ロゴでは高さを「A」とし、**ロゴの周辺に高さの 1/2 の余白を持たせてください。**



## ISOLATION

アイソレーション・ゾーン - 例外

giftee ロゴには \* (アスタリスク) に「掛け算」の意味を持たせる機能が備わっています。これを用いる場合に限り、ロゴ末尾のアイソレーションが解除されます。

右記が使用例です。

# giftee\* for Business

1. giftee 配下のサービス名を付ける

giftee\* *you*

2. 企画タイトルなどでの利用

giftee\* *kern*

3. 企業・団体・個人とのコラボレーション時のロゴ x ロゴ利用

## LAYOUT

### 配置方法

本ロゴはシンボルマークが右側にある仕様上、デザインソフトなどで中央配置にすると配置する面積によってはやや左寄りに見えることがあります。

その場合、下の図のように中心が「t」に来るよう、やや右方向に移動させることで収まりよく配置することができます。

標準中央配置



giftee\*

CENTER LINE

調整後



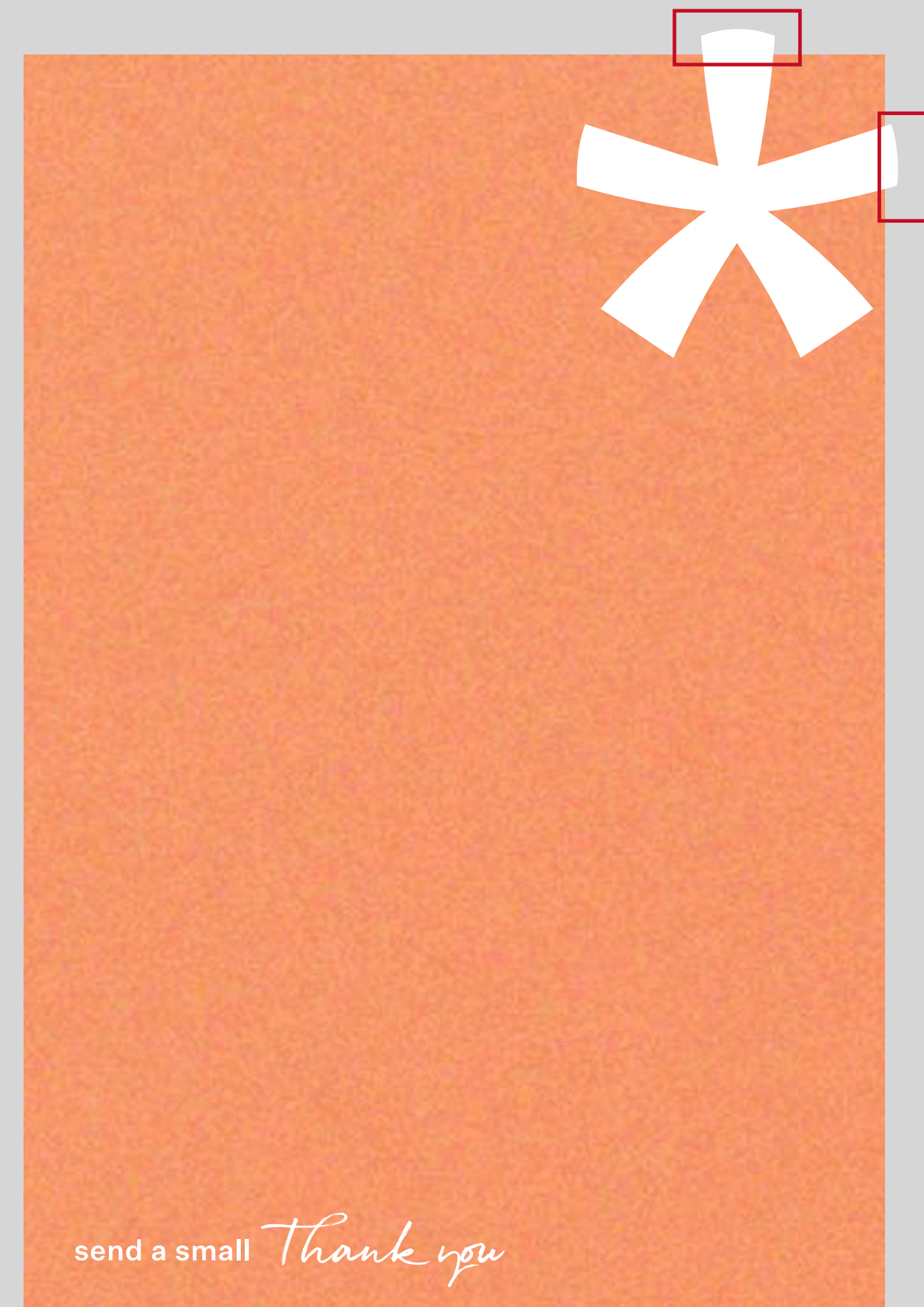
giftee\*

## LAYOUT

### 配置方法

#### シンボル・マーク単体での利用

シンボル・マークをデザインエリアの右上に配置することで、夜空に輝く星や、箱に結ばれたリボンを表現します。図中の赤枠のように上紐と右横紐をカットしつつ、右下紐はエリア内に入れるように配置すると、収まりよくレイアウトができます。





## LAYOUT

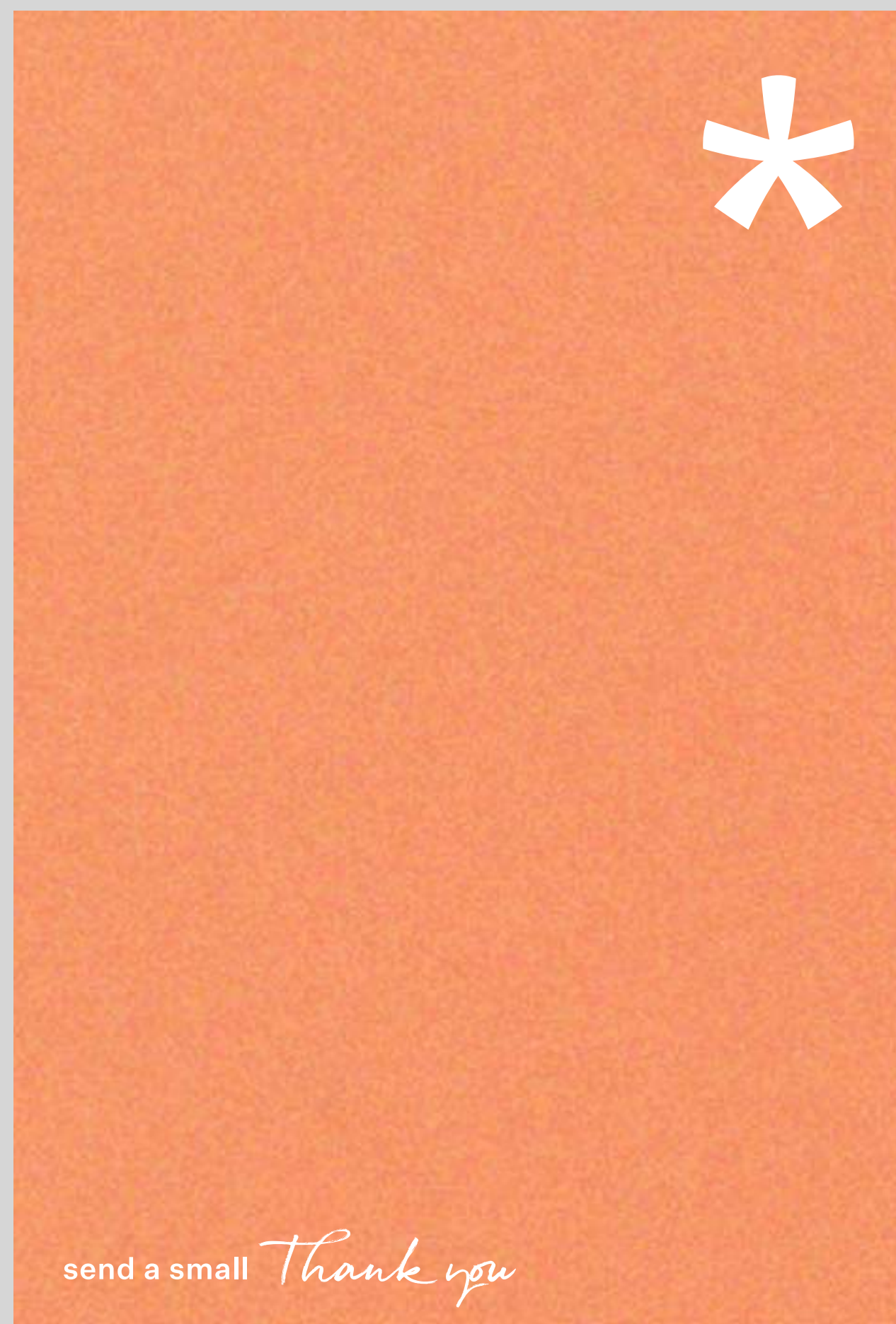
### 配置方法

#### シンボル・マーク単体での利用 - その他の例

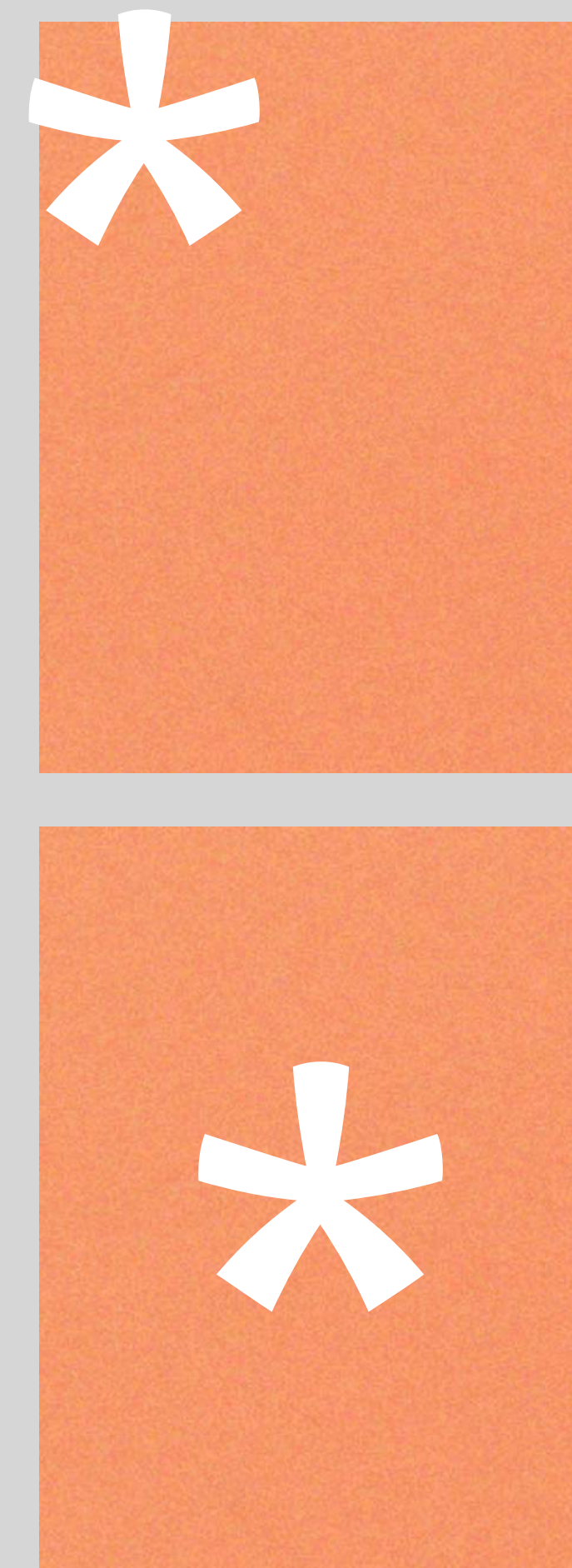
図 2 / 右端でロゴを切らなくとも、デザイン全体に対してロゴを右上に配置することで giftee のアイデンティティであることを明示できます。シンボル・マークを小さめに配置したいときや、フチなし印刷ができないときに推奨のタイプです。

#### 禁則事項

図 3 / シンボルを左上や中央に配置することは認められません。メインロゴにおけるロゴタイプとシンボルの位置関係同様に、デザインに対してシンボルが右上に配置されることを厳守します。



2. 全体に対して右上に配置する



3. 左上や中央配置

## MINIMUM SIZE

### 最小サイズ

最小サイズはロゴを美しく表示させるために規定されます。ロゴが鮮明に表示されていることは、ブランドイメージに大きな影響を及ぼします。右記の数値が最小サイズの目安です。

印刷物は紙や加工によって視認性が変わりやすいことから、可能な限り実際の制作物単位で仕上がりを確認しながら用いてください。

### ロゴ（メイン）

ロゴタイプ / シンボル・マークの両方が明瞭に表示されていることが望ましいですが、小さなサイズで使用する場合にはロゴタイプの視認性を優先します。

### シンボル・マーク単体

5つの線からなるアスタリスク型であることが分かるサイズを維持してください。



↑ ↓  
横幅 80px / 20mm



↑ ↓  
横幅 30px / 5mm



## MISUSE

誤用例



ロゴは正しく使われることで本来の機能を役割を果たします。  
 ロゴを誤用することは、ブランドイメージの低下につながります。  
 上記のデザインが正しい形態とし、右記のように外観に手を加えたり、  
 視認が困難になる用い方を禁じます。



ロゴの色を変える



シンボルの位置を変える



縦横の比率を変える



回転させる / 角度を変える



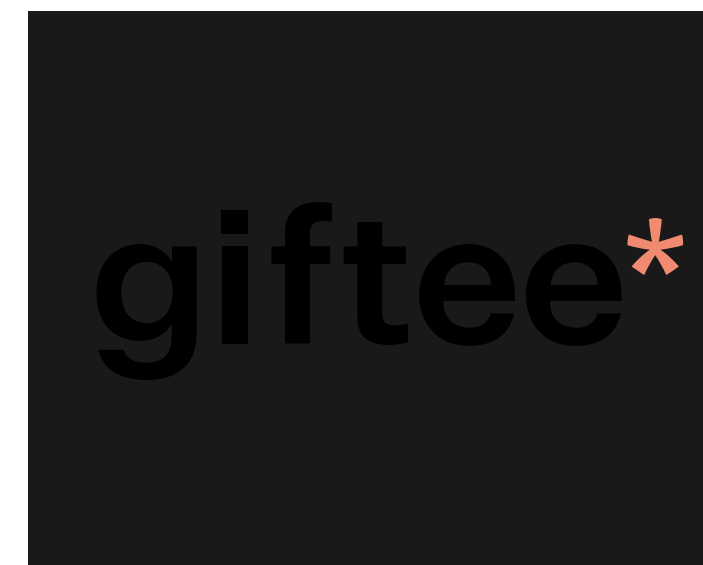
フォントを変える



枠線などの装飾を施す



解像度の荒れたデータを使う



背景に複雑な写真や色を敷く



背景に複雑な写真や色を敷く